

# 意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成27年 2月17日（火）
- 2 時 間 開会 午後 7時～ 閉会 午後 8時33分
- 3 場 所 玉川こども図書館 2階 交流ホール
- 4 参加人数 26名
- 5 出席議員 田中展郎議長、松村理治副議長、  
角野恵美子教育消防常任委員長、  
喜多浩一教育消防常任副委員長、  
広田美代教育消防常任委員、宮崎雅人教育消防常任委員、  
小阪栄進教育消防常任委員、清水邦彦教育消防常任委員、  
中西利雄教育消防常任委員、福田太郎教育消防常任委員、  
新村誠一議会運営副委員長、安達 前総務常任委員長、  
秋島 太経済環境常任委員長、  
小林 誠市民福祉常任委員長、  
下沢広伸建設企業常任委員長  
（オブザーバー議員）  
坂本泰広議員、高 誠議員、山本 保議員、  
麦田 徹議員、源野和清議員、長坂星児議員、  
小間井大祐議員、奥野秀也議員、前 誠一議員、  
山本由起子議員、久保洋子議員、黒沢和規議員、  
玉野 道議員、森尾嘉昭議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

喜多浩一教育消防常任副委員長の進行のもと、田中展郎議長の開会挨拶に引き続き、出席議員の紹介を行った。次に、小阪栄進教育消防常任委員から平成26年度金沢市議会12月定例会月議会の報告を行った後、角野恵美子教育消防常任委員長の進行により当該報告についての意見交換を行った。その後、清水邦彦教育消防常任委員から意見交換会テーマである「学校規模の適正化について」の報告を行い、同様に意見交換を行った。引き続き、同委員長の進行によりその他の事項に関する意見交換を行い、松村理治副議長の閉会挨拶の後、閉会した。

## 1. 開 会

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

それでは、定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開会いたします。

本日の司会進行を務めます、私、教育消防常任委員会副委員長の喜多浩一でございます。よろしくお願いいたします。(拍手)

## 2. 開会挨拶

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

それでは、開会に当たりまして金沢市議会議長の田中展郎から皆様に御挨拶申し上げます。

【田中展郎議長】

皆さん、こんばんは。

本日は大変お忙しい中、そしてまたお仕事でお疲れのところ、金沢市議会の意見交換会にたくさんの方に御出席いただきまして本当にどうもありがとうございます。

この意見交換会ですが、本年度より議会改革の一環として実施しているものであり、今回が本年度最後の開催ということになります。

この間、競輪場外車券売り場の問題をめぐり、市民の皆様に市政に対する不安や不信を抱かせましたことを改めて心よりおわびを申し上げます。この件につきましては特別委員会を設置し、調査を行っているところであり、調査結果がまとまり次第、市民の皆様に御報告をさせていただきたいと思っておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

さて、本日の意見交換会のテーマは、「学校規模の適正化について」であります。教育委員会では、これまでも子どもたちの教育環境の向上のため学校の統合を行ってまいりました。議会でも議論されているところであり、さまざまな御意見をいただき、活発で建設的な意見交換ができればと思っております。

どうぞ最後までよろしく願いいたします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

ありがとうございました。

ここで、今回の意見交換会に出席している議員を紹介いたします。

まず、正副議長を紹介いたします。今ほど挨拶いたしました田中展郎議長で  
ございます。

【田中展郎議長】

よろしく願いします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

続きまして、松村理治副議長でございます。

【松村理治副議長】

よろしく願いします。御苦労さまです。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

次に、今回の意見交換会を担当している教育消防常任委員会の委員を紹介い  
たします。

角野恵美子委員長でございます。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

よろしく願いします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

中西利雄委員でございます。

【中西利雄教育消防常任委員】

こんばんは。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

福田太郎委員でございます。

【福田太郎教育消防常任委員】

お疲れさまです。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

宮崎雅人委員でございます。

【宮崎雅人教育消防常任委員】

御苦労さまです。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

清水邦彦委員でございます。

【清水邦彦教育消防常任委員】

こんばんは。よろしく願いします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

小阪栄進委員でございます。

【小阪栄進教育消防常任委員】

こんばんは。よろしくお願ひします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

広田美代委員でございます。

【広田美代教育消防常任委員】

お集まりいただきありがとうございます。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

次に、金沢市議会には教育消防常任委員会を初め5つの常任委員会と議会運営をつかさどる委員会として議会運営委員会がありますが、各委員会の委員長も出席しておりますので、あわせて紹介させていただきます。

議会運営委員長は、委員長代理が出席しております。議会運営副委員長、新村誠一議員でございます。

【新村誠一議会運営副委員長】

どうもきょうは御苦勞さまでございます。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

総務常任委員長であります安達前議員でございます。

【安達前総務常任委員長】

御苦勞さまでございます。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

経済環境常任委員長であります秋島太議員でございます。

【秋島太経済環境常任委員長】

こんばんは。よろしくお願ひします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

市民福祉常任委員長であります小林誠議員でございます。

【小林誠市民福祉常任委員長】

よろしくお願ひします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

建設企業常任委員長であります下沢広伸議員でございます。

【下沢広伸建設企業常任委員長】

よろしくお願ひいたします。(拍手)

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

また、今ほど御紹介いたしました教育消防常任委員会委員及び各委員会の委員長以外の市議会議員についてはオブザーバーとして参加しておりますことを御紹介いたします。

次に、本日の意見交換会の進め方について御説明いたします。

受付で配付いたしました資料のうち、意見交換会という表題の資料をごらん

ください。

こちらに次第を記しております。次第の3になりますが、この後、議会報告といたしましてこの意見交換会の直近に行われました12月定例会議会の概要を中心に10分程度御報告いたしました後、その報告の内容に対しまして質問などをお受けいたします。その後、次第の4では、本日のテーマであります「学校規模の適正化について」を20分程度御説明いたしました後、同様に御意見をお受けいたします。その後、次第の5のその他の事項に関する意見交換として10分程度を予定していますが、特にテーマを設けず御意見をお受けいたします。

なお、会場の都合もありますので、進行ぐあいにより御発言を希望される方が多い場合には、途中で意見交換の時間を打ち切らせていただく場合もありますので、まことに申しわけございませんがあらかじめ御了承ください。

また、御発言をいただく際の注意事項として、あらかじめ3点お願いいたします。

まず、発言を希望する方は挙手をお願いいたします。指名を受けましたら、係員がマイクをお持ちしますので、お住まいの町名とお名前を御発言いただき、その後、御意見をお願いいたします。

2として、今回は議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことを御了承願います。議員個人の考え方や意見を聞きたい場合は、意見交換会終了後にそれぞれの議員に対して質問されるようお願いいたします。

最後に、本日の議事の内容は、後日、金沢市議会のホームページにアップいたします。皆様方からいただきます御意見につきましては、お住まいの町名、お名前とともに掲載させていただきますので、あらかじめ御了解をお願いいたします。

### **3. 平成26年度金沢市議会12月定例会議会報告**

#### **【喜多浩一教育消防常任副委員長】**

それでは、報告に移ります。平成26年度金沢市議会12月定例会議会につきまして御報告いたします。報告者は、教育消防常任委員会、小阪栄進委員です。よろしくようお願いいたします。

[小阪栄進教育消防常任委員が平成26年度金沢市議会12月定例会議会報告について別紙のとおり説明]

#### **【喜多浩一教育消防常任副委員長】**

それでは、ただいまの報告に対する意見交換に移りたいと思いますが、意見

交換の進行については角野委員長にお願いいたします。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

教育消防常任委員長の角野恵美子でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、ただいまより意見交換を行いたいと思います。

ただいまの報告に対しまして、御意見等がございましたら挙手をお願いいたします。

**【参加者】**

コートを着た格好のままで失礼いたします。

議員定数の削減について、これは決まったようですが、どなたがどういうふうに賛成したとか反対したとか、そういうものは議会だよりには載せられないんですか。その点が一つ。

それと、議員定数の削減というのは市民にとっても大事な案件ですが、こういう議会の意見交換会に何でこんなテーマがのせられて市民の意見を聞くような機会を設けられなかったのかという2点についてお尋ねいたします。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

それでは、田中議長、お願いいたします。

**【田中展郎議長】**

御苦労さまです。

議員定数は、実は議員定数検討会というものを昨年1月から開いて検討してきたんですけど、議長のほうに答申は出ました。ただ、答申とはまた違って、本会議の中で議員定数削減の議案が出されまして、委員会でどのような決定であれ本会議で決まったこと、それは国会も一緒なんですけど、それが最終的に議会の決定ということになります。皆さんの判断で、誰がどちらとかそういうのははっきり議会の中ですからそれを議会ですべて言っていればあれなんですけど、最終的には賛成多数ということで決まりましたということでございます。

以上です。

**【参加者】**

前回もそうなんですけれども、予算とかそういうのを連動されておられるんですけれども、我が市が本当にこのままでこの負債を抱えて生きていけるのかなという不安を持っています。夕張市なんかは倒産して人口が10分の1になったとかそういうふうになったんですけど、金沢市の負債も4,500億円ぐらいあると思うんですが、1人当たり、おぎゃーっと生まれた赤ちゃんも100万円ぐらいの負債を抱えていると思うんですけど、計算が間違っているかどうかちょっと確認いただきたいんですが、そういう負債を少なくするというそういう議決または決議というか討論はもうされているんでしょうか。それともまだまだ余裕

のある経営状態になっているのでしょうか。そこら辺をお聞きしたいです。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

田中議長、お願いいたします。

**【田中展郎議長】**

負債の件でありましたけど、おおむね金沢市はほかの類似都市に比べればいほうだということでお聞きしていきまして、負債を毎年、予算つくるたびに少しずつ減らしていきっている予算を組んでおります。そんなんで、これは議会と行政と一体になってやることなんですけど、できるだけ負債がふえないように努力していることは事実でありますし、ほかの都市よりか私たちはいい状況だと思っております。

新幹線がいよいよ金沢にやってきますので、またいい意味で経済効果、これが発揮できて、また少しでも市における経済状況がよくなればな、そんなことを思っています。

よろしく申し上げます。

**【参加者】**

子ども・子育て支援新制度についてお聞きしたいんですけれども、具体的にどういうものなのか、それからこれを議会としてどういうふうに応援をされていくのか、その辺をお聞かせいただければ幸いかなと思うんですけれども。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

市民福祉のほうかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

子ども・子育て支援新制度の件ですけれども、今、国の方から新たに13項目のメニューが示されております。その中でさまざまな項目があります。例えば病児保育をきちんと、金沢市も今数カ所で病児保育を持っていますけれども、さらに広げていくというような国のほうの方針も示されていますし、また放課後児童クラブ、安倍総理は5年間で30万人をふやすということも言っております。金沢市、放課後児童クラブは今七十数カ所ございますけれども、その定員の問題もありますし、また開所の時間、閉まる時間、そういったものに対して今おおむね6時で閉まっている現状ですけれども、親御さんのニーズとしては7時まで開いてほしいというニーズもありますので、そういったところに財政支援ができるようにということで金沢市としても議論をしていますし、何といっても保育所の件ですけれども、新たに認定こども園という施設が保育園から移行して今13の認定こども園が4月からスタートいたしますし、金沢市は待機児童というのはゼロでありますけれども、できる限り親御さんのニーズに応えるような形で子育てができるようなということで今対応をしていますし、その議論をさせていただいておりますので、よろしく申し上げます。

**【参加者】**

質問というか詳しい情報をどこで見たらいいのかということさえわかればいいんですが、12月定例月議会、本会議1日目の市長提案理由説明で、文化ホールの国際会議機能の強化を目指すリニューアル基本計画を取りまとめるってあるんですけども、個人の経験では10カ所から13カ所、とある時分の医療情報関係で国際会議に出席していたりしているんですが、今回、来年、東京に呼んでくれることになったんですが、そのついで新幹線の日帰りだと思ってミニ会議をやろうと思っても、ちょっと金沢の歌劇座にしても何にしても国際会議をやるのには非常に問題の施設だと私も思っているんで、この強化が同時通訳とか主にソフト面がどのように強化されていくのかとか、そういうところの内容がわかるものが、ホームページですか、フェイスブック、どうすればいいんでしょうか。

**【田中展郎議長】**

来年度の事業で、まだ私らも詳しい内容は把握してないんですけど、また内容が詳しく出ましたら、議会だよりなんかにも載せると思いますし、またホームページ等々にも詳しい内容は載せれると思いますので、よく注視して見ていただければと思います。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

この件については文化政策課が今検討していると思っております。

**【参加者】**

でも、今検討だったら本当に国際会議を招致するのは二、三年先。みんなはもうオリンピックと一緒に七、八年以上前から中国とかインドネシアとか、すごいところはそれぞれのところが誘い込みかけているんですよ。その中で手を挙げれるところといったら京都とか神戸とか横浜、本当に限られていて、せっかく新幹線が通って日帰りできるんですから、ミニ会議ぐらいはこちらでワークショップしてもらおうとかそういうのはやっぱり早急にやらないと金沢のまちは死んでいくと思いますよ。

**【田中展郎議長】**

金沢市の行政もしっかりしていますので、そこら辺は任せただけであればちゃんとやります。

内容はそれぞれ100%応えられるかわからないんですけど、ただ、そこら辺は考えてやっていると思います。

以上です。

**【参加者】**

百万石は外国人には通じませんから。

**【田中展郎議長】**



それもわかっています。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

御意見として承っておきます。

**【参加者】**

3月14日に新幹線が来ると皆さん浮かれておられると思いますが、私は実は新幹線高架から100メートルぐらい離れたところに住んでいます。そこでお話があるのが騒音問題です。やっぱり今、試験走行していますが、8時から夜の12時ぐらいまで、どんどんどん高スピードで走っていきます。実際に金沢市、県、国、JR、鉄道・運輸機構等、たくさんの事業者が絡んでつくっているもので、でも、どこがこういった問題を扱ってくれるのかわかりません。

そこで、実際に騒音とかに関しての住民説明会とかそういったものはされるんでしょうか。あと、また今後どのような対応してくれるんでしょうか。それを質問したいと思います。

**【田中展郎議長】**

実は北陸新幹線開業に伴う環境対策ということで、今、私の調べさせていただいたところ、まず試運転を踏まえて、沿線の住民の皆さんに騒音、振動、テレビ電波障害等々、それから日照権の問題、そんなことも含めて町会を通して、JRが窓口になると思うんですけれども、それは石川県も金沢市も、金沢市は環境指導課になると思うんです。それから鉄道・運輸機構ということで窓口になりまして、県と今相談しながら試運転に対する苦情等々の相談窓口を設けていますし、またそんな回覧を各町会を通して沿線住民に回覧するという事でお聞きいたしております。2月中ぐらいと言っていましたから、またそこら辺は確認しておきますので、そのような状況です。

以上です。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

まことに申しわけありませんけれども、7時半になりましたので……。

**【参加者】**

済みません、もう一つお願いします。ごめんなさい。

12月議会とはちょっと関係ないかもしれませんが、1月の新聞で政務調査費の返還判決が高裁から1,005万円の返還を求めるよう市に命じたという判決が出たそうですが。それで、議会としてはどのように対応される予定なのか、市民としてお聞かせいただきたいと思います。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

申しわけありません。それはその他の中でまたお聞きしていただきたいと思っています。

それでは、議会報告に対する意見交換を終了いたします。

#### 4. 意見交換会テーマ報告「学校規模の適正化について」

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

続きまして、本日の意見交換のテーマであります「学校規模の適正化」について御説明いたします。説明が終了いたしましたら、このテーマに沿った意見交換を行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。報告者は、教育消防常任委員会の清水邦彦委員でございます。よろしくお願ひいたします。

[清水邦彦教育消防常任委員が意見交換会テーマ報告について別紙に基づき説明]

【角野恵美子教育消防常任委員長】

それでは、ただいまの報告に対する意見交換を行いたいと思いますので、発言を希望される方は挙手をお願いいたします。

【参加者】

ちょっとこの問題は幅が広すぎてなかなか難しいですけれども、これは何年先を見据えた学校規模の適正化ですか。毎年毎年、見直しをしていく予定なんですか。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

何年先ということですが、どれぐらい先を見据えてどんどんやっていきたいということでしょうか。

【参加者】

いや、これまでずっと学校の統廃合、それからふやしていく、それを見ると、人口のふえたところはたまりますね。それは30年、40年たつと統合していかんならんとというような状況をつくっております。そやから、これは10年、20年先を見越してそういう統廃合をやっていくのか、人口が減ったらなんかかんか切っていくのか、そういう方向性というものは考えに入っているんですか、この適正化には。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

今の御意見をしっかりと受けとめまして、また検討していきたいと思っております。

【参加者】

そうすると、もっと細かい、これからもうほとんどうちのところは高齢化が進んでおります。私のところは紫錦台と城南と南小立野小学校は2つに分かれていきます。そうすると、公民館の行事とか社会体育大会とかそれを続けてきても、学校が2つあった場合に中学生の競技がちょっとやりづらいです。と

いうことで、三口のほうは紫錦台のほうに行っているんですけども、それを城南へ移すとか、それから今やっております選抜といいますか、自由に行ける学校選択制。あれは何人ですか、1学校。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

45人になっております。それで、市のほうとしましても統廃合を進める前に通学区域の見直しを行うべきじゃないかという御意見もあります。今、教育委員会で検討しているところでもありますので、今年度中にもその結果が出てくると私は聞いております。

【参加者】

だから、何年先を見据えてそういうことをやっていくのかなど。それが気になったもので、もっと地域に密着したというか、地域のコミュニティーをとれるような統廃合にしてほしいです。

それからもう1つ、これまでまちなか、長町、長土堀、松ヶ枝は統合してまますね。そういうものの結果、調査しておるんでしょうか。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

学校の統廃合につきましてはしっかりと地元の理解を得ていることを前提としまして議案を可決している。今後とも、統廃合の議案が出てきた際には、子どもたちの教育環境の向上や地域コミュニティーなどの観点を踏まえて慎重に審議していきたいと思っております。

ただ、10年先、20年先は、ちょっとここでは御返答できませんので、また持ち帰りまして検討してみます。

【参加者】

そうしたら、やっぱり一部が紫錦台へ行ったり、そういう是正というのはじゃんじゃんとしていってもらったほうがいいんじゃないでしょうか。

【福田太郎教育消防常任委員】

私も紫錦台校下におります。金沢市内で各所に、いわゆるA小学校からB、C中学に分かれるところありますね。南小立野小学校もまさしくその地域ですが、今、教育委員会でそれをやっています。ただ、発表があさってか何かになるんですよ。ちょっと今まだ言えないのですが、やっています。

ただ、今言われたこの学校規模の適正化は、大体6年と3年で9年、それプラスアルファでやっても大体15年から17年間隔で計算をしてやっています。今出てきたのは小中の適正化。それを踏まえて、小学生は何人いるかはつきりわかっていますから、その子たちが中学へ行く計算でやっています。その次に出てくるのが今言われたとおり、小学校が分かれていく、中学校へ進学するのに分かれていくのが不便ですよ。非常に不便です。公民館の問題も出てきます。おたく様のところでしたら公民館も崎浦、小立野、全部分かれてきますから、

はっきり言って結構もたもたになっていますね。それも含めて中学校の適正化も含めて、今のところ審議会が出た発表が、近日中に公表されます。私たちが概略だけで聞いているだけで、中身はちょっと知らないんで、あしたかあさって、多分発表になると思うんで、御心配されていたとおりのことが今こんなにしましようかという案で出てきますので、私らも見てからじっくり、うまくなるようにやっていきたいと思うんで、またよろしくお願いします。

**【参加者】**

統廃合についてなんですけれども、統廃合することによって特に学校数が減ると地域の文化の伝承というのができるのかなと。その懸念があるんですね。どうしても子どもが減るわけですからしょうがないんでしょうけれども、なくなってしまったものはもう学校がないからしょうがないよということでもいいのかどうかという話です。

その問題がいっぱい多分あると思います。来月には新幹線が来る。ほかの文化はいい文化いっぱいあるから何とかしましようねって言っているさなかに、管内から子どもたちがいなくなってしまうと、肝心かなめの文化を伝承する、伝えていくべき人間を減らしているわけです。そんな中でどういうふうに企画してこれからやっていらっしゃるのかということをご質問したいと思います。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

さっきもお話ししましたけれども、どうして学校統廃合が必要なんだということだと思いますけれども、まずやっぱり少子化や人口減少時代におきまして小中学校の児童・生徒数に隔たりが生じており、特に小規模な学校がふえつつあります。だから、小中学校におきましてもさまざまな教育活動を広げて展開していく。そこで保護者や地域住民と一体になって子どもたちの育成を図る観点からも適正な規模の学校が必要なんだという観点からであります。

そのかわり、きちっと学校の統廃合におきましては地元の理解を得ていくことが前提として、またさらにさっきおっしゃられましたような子どもたちの教育環境の向上や地域コミュニティーなどの観点を踏まえて慎重に少しでも取り組んでいきたい、こういうふうに取り組んでおります。

**【参加者】**

かえって学校の先生は負担になりませんか。そうすると今まで一つの地域だけの文化の伝承だったのが両方やらなきゃいけないということになり得るということはありませんか。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

だからこそ、しっかりと地元の意見、また学校の意見、もろもろをしっかりと検討、調査しながら進めていきたいという思いであります。

**【参加者】**

今、統廃合された後ではちょっと遅いかなと思うので、自分の個人的経験を通しながらですが、学童保育というものをどう考えるかということと、今、クラスで、我々のときは多分50名だったのが今35名ぐらいですか。議員さんの雰囲気を見ていると単に人数で勝負しようとしていらっしゃるけれども、私のちょっと身の回りの個人的経験で言えば、知的障害児あるいは身体上の障害児も今、機会均等ということで同じ教室でやっているんですね。その1人が、申しわけないんですがとんでもない方がいらっしゃる、やっぱりその先生は疲れ果てて1年単位で先生がかわられたんですね。そういうのを見ますと障害児の方に手をとられ過ぎている体制もあるということで、単に人数だけでなくどういう負担がかかるかということも念頭に入れていただいて教室の人数を決めるべきだと思うんですね。

それとあと学童保育、さっきの災害避難じゃないんですけど、統廃合するときに、私はアメリカにもしばらくいて見ていたんですが、スクールバスを運転してやっているところも随分あるわけですね。スクールバスを運転してやっていく。そうしたときには、多分先ほどの方の点につながるんですが、毎年そういう運転手とか車のメンテナンスとか税金とかそういう毎年かかる費用負担、そういうものはどうやって単年予算の中に生かし切れるのかとか、その辺もひっくるめて議論していただければ、スクールバスか歩ける範囲か、お年寄りが避難所として逃げれる範囲か、そういうことで小学校という建物はコミュニティーにどう役割を果たすのかということ、今、全国、フェイスブックでかなり熱心に討議されてますよね。そういうのもやはり考えていただく。私は福井で勤務してまして、子どもを福井に置くか金沢に置くかで考えて、おじいちゃんに預けることにしたときに、やはり教室が2クラスか1クラスになるかで3月31日まで教育委員会からがんが電話がかかったんですよ。何でやねんって聞いたら、教室の数が減るから。

だから、そういうちょっと過去の経験ですが、遠くから通うとしたら車の維持費とかそういうものはどうするか。通学路の安全。公民館は従来どおりの小学校跡地に置いて耐震設備の向上をしっかりと。ただ、今、統廃合と耐震、古くなった校下からいくと思うんです。だから、材木町と味噌蔵が今議題に上っておると思うんですが、材木町は私のときに火事があったそのときの建物ですけれども。だから、その耐震設備ということも何か、先ほど何年先のことを考えているんですかということにつながると思うんですけど。設備の更新とか。

だから、何かこれ、議題が広過ぎちゃって、ハードなのかソフトなのかわからないんですよ。1時間未満で議論しろというのは無理ですよ。

ということで、きょうのテーマはどっちですか。ハードですか、ソフトです

か。耐震設備用の建築の建てかえですか、それとも何なんですか。ジェンダー、働きやすい、男女共同で働いて、学校の先生も森本の端っこから野々市の端っこみたいところに通うの大変なんですよ。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

もう少しまとめていただいて、どういう……。

【参加者】

だから、まとめが見つからないんですよ、このテーマじゃ。

【参加者】

今現在、統廃合の議題というかそういうものに上がっているのはどこどこなんですか。私らの菊川とか新堅とかそういったところは大分少ないんで、実際そういう議題に上がっているんじゃないかなと思うんですけども、その辺もはっきり皆さんに言わないと議論のしようがないですよ。大ざっぱにこう言っても、私らはただ統廃合だけで全体的なことしか聞いてないし、こことここというのであればその地域の方もまた一生懸命来てくれると思うんですけど、その辺をもうちょっと議題を絞ってやってもらわないと私らも困るんですよ。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

今、小学校で統合を基本に検討しているところは9校あります。例えば市街地に立地している学校は7校であります。新堅町、馬場、大野町、材木町、味噌蔵町、菊川町と、統合した野町、これは通学区域の範囲や周辺の学校との距離等を勘案し、通学における児童の負担も比較的小さいと思われるためであります。

もう1点の中山間地に立地している学校、これは2校あります。これはさっきもお話ししました朝日小と俵小、これはもうさっきの発表にもあったと思います。

それで、今のところ現行どおり設置する、これは9校であります。東浅川、三谷、花園、不動寺、長田町、明成、犀川、西、米泉、この学校は通学区域の範囲や周辺の学校との距離等を勘案して統合は困難だと思われるためであります。ただ、通学区域の見直しは検討ということであります。

【参加者】

済みません。今聞いただけではっきり全部は頭に入らないのであれなんですけど、この前何か新聞に載ってましたけど、小学校の場合は通学距離が4キロやったかな、3キロやったかな。中学校は7キロか何かそんな感じの数字が出ていたと思うんですけども、余りにもそれにこだわり過ぎてお役所仕事というのはやっぱり決め決めのそういったことばかりやられるところなんで、地域のそういった先ほど誰か言われましたけど住民の方の文化とかそういったことも考えて、多少ちょっと遠くてもこっちのほうがいいのか、その辺の全部ひ

つくるめて考えないと、そう簡単に結論出ないですよ。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

おっしゃるとおりです。その辺もきちんと検討しましてこれから進めていきたいと思っております。

**【参加者】**

2点お伺いします。

1月でしたか、文科省のほうに通学区域の基準について今までおっしゃったように距離を縮められたのがバス等の利用を考えて時間を考えてということが示されました。私、これ参加したのは、市議会さんのほうでそれをもとに考えて国の基準でやればこうなるけれども金沢市はこういう方向に行くというそういう案を出していただけるのかと思ったんですが、そういう御説明はないんですね。前の済んだ議会の説明だけというのはちょっと非常に残念です。

それに関連して、統合するかどうかというだけじゃなく、やっぱり1年生と6年生では通うといっても意味合いが非常に違いますから、地域の状況によっては低学年はそのまま高学年だけ統合とか、そういう柔軟な方法を考えていただきたいというのが1点です。

それから第2点目は、統合になった場合の建物の活用についてはお話がありましたけれども、設備についても市の所有の財産ですから有効に活用していただきたい。例えば松ヶ枝福祉館にはこういうスクリーンが全然ないんですよ。私も以前に貸していただいたときに金大さんから借りて持ってきているんですけども、これだけ生徒が減っているわけですから余っている学校はいっぱいあると思うんです。財政も苦しいから買ってとは言いませんので、余っているやつを有効に持ってきていただいて、使っていただきたい。それが2点目です。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

いただきました御意見もまた検討させていただきまして、取り組むと言えないんですけれども、また考えていきたいと思っております。

ここではきちんとやりますとは、申しわけありません、ちょっと言えませんので、御意見としてお伺いをしておきます。

よろしく願いいたします。

**【参加者】**

適正化というこれとちょっと外れるかもしれませんがもお聞きしたいことがございます。

スライドの6枚目のところに学校規模の適正化というところに、小学校で昭和62年に中央小学校が開校となっております。それから、平成7年に明成小学校が開校になっていると思うんですが、このときの最初の4校が統合したときの中央小学校の生徒数がどれだけだったかということと、今現在の生徒数がど

れだけになっているか。同じく明成小学校はどういうふうになっているかということをお聞きしたいということ。

なぜかといいますと、多分統合したときには二、三百人ぐらいたと思うんですが、今は多分100人か百二、三十人だと思います。それだけ減るということがわかっていて統合するということになれば、またこの学校がどこかと統合しなきゃいけないということになるんです。今現在、弥生と野町が統合すると、25年度566人、それが26年度の時点で541人、既に25人減ることになります。これが10年たつと250人減ることになります。単純計算すると10年後に。そうすると、またどこかと統合しなきゃいけないということになります。

果たして金沢市がこういうふうな施策をしていいのかという気はしますけれども、それと子どもたちをふやすということ。金沢市内、中心部に子どもたちをふやすという施策があるのかなのか。多分、小学校を統合しますということで市長が学習、市民交流の拠点として多分活用していくんだと思います。公民館をつくったり、学童保育にしたり、いろんな施設をつくっていくと思います。ただ、それをしても人口はふえません。住宅がない限り。小学校の跡地に20軒もの住宅が建って、若い人たちが入ってくれば当然子どもができます。人口がふえます。それから市民税もふえます。固定資産税もふえます。市が持っても固定資産税はふえません。そうすると、民間に払い下げして住宅を建ててもらおうということが必要じゃないかと思います。

今、統合してきた学校が幾つかありますけど、その施設は多分市の管理下になっています。経費はかかっても税金は落ちてきません。こういう言い方をすると悪いのかもしれませんが、住宅にすれば子どももふえます。固定資産税もふえます。市の収入にもなります。学校の統合を考える必要はありません。というふうなことになるんじゃないかなと私は思いますけれども、御意見をちょっとお伺いしたいと思います。

**【角野恵美子教育消防常任委員長】**

最初の御質問の中で、中央小学校は現在513人おります。創立当時は1,000人を超すということでありました。明成小学校は現在254人です。創立当時は、ちょっとわからないところなんですけれども、今の御意見をお受けいたしまして、また考えていきたいと思っております。

**【秋島太経済環境常任委員長】**

先ほどまちなかの子どもたちの定住の促進ということで、今、地方創生ということで言われております。数年前からまちなかのドーナツ化現象が言われておまして、金沢市としましてもどうにかしてまちなかに人を呼び込もうということで、例えばまちなか住宅奨励金という事業がございまして、まちなかにおうちを建てる若い45歳未満の世帯に対しては住宅奨励金を出したり、また二



世帯で住んでいただけるようなそういううちを建てたらプラスアルファ幾らかというような形でまちなかに子どもが残るように今金沢市もやっております。おかげさまで少しずつまちなかのほうにも若い人たちが住んでもらえるようになってきましたので、議会の中でも人口減少問題とか定住促進という議題というのは議員の中から多く出てきておりますので、引き続きまちなかに子どもがまた戻ってくるように取り組みを行っていきたいと議会のほうも考えておりますので、よろしく願いいたします。

#### 【参加者】

御存じ、皆さん、菊川の校下の方ばかりの発言がありましたけど、新堅町小学校も今後どうなるかなということを確かめに来ました。一応昨年春の段階の情報によりますと、菊川と新堅が合併するか、統合により県立工業高校の跡地に移転するような話で、県立工業高校が金沢大学工学部旧跡地へ移転するような話も聞いたということで、ところてん方式で移動するような話を聞いております。また、別のサイドは、金沢美大のほうで工学部跡地に移転するという話をうわさで聞くようなことがありましたので、今後どうなるのかなと思います。

新堅は御存じのように明治3年、1870年に小学校が6できたうちの一番古いほうです。その中に小立野小学校、馬場小学校とかございまして連綿と続いていると。また、菊川小学校は大正3年に新堅から分離という形で誕生しましたし、今後また統合されてもまた系統というか流れは変わらんとするという、私どもはOBとしてはそのように思っております。

あと意見としまして、少子化とかそういう問題について、自分の経験から、いじめのことについて考えを申し上げたいと思います。私の時代は養護学校に行きました。難聴という障害を持ちながらみんなと一緒にやらせていただきまして、ちょっと聞こえないということでありまして理不尽な教師のしかり方とかありましたけど、このように何とかたくましく生きてまいりました。我が子3人、新堅町小学校に御厄介になりました。年の差は4歳と2歳。一番下の子は女の子ですけど、新堅小学校は学年1クラスしかないので、学校の後の一番最後の掃除の時間のときは縦割りということで6年から1年までそれぞれ一緒のグループをつくって掃除すると。そのとき末娘が1年のとき、ちょっとコミュニケーションが悪かったんか知らんけど上級生の6年生に言われたことをずっと引きずってしまった。一応4つ年上の姉がいたから一緒に学校行くので登校拒否にならなかった。だけど、やっぱり心理的ストレスがあったんですけど、問題の6年生は、一番上の長男なんですけど、長男の弟とよく親しく、弟のことだったんで、まあ、そういうことでありまして、少ないことによってもめる場合もあるし、親同士が何とか解決しちゃう場合もありますので。あとそういう

ことで新豎小学校、どうなるかということだけでも聞かせていただけたら。

**【喜多浩一教育消防常任副委員長】**

学校規模適正化で新豎町小学校が名前が出ていることは確かです。いろんな記事等でも、新聞とかでも、何か連長さんが言ったとかいろんなのありますけど、まだ何も決まってないというのが事実だと思います。まちなかの方々もいろんなお話し合いはしているようですけども、今、県立高校の跡地とか工学部跡地とか、それはまだ何も決まってないというのが現状だと思います。

以上です。

**【参加者】**

先ほどから小学生の人数が少なくなってきたので統廃合しろというお話がありますが、高齢者の人数はどんどんふえているわけで、私は生涯教育というか生涯学習でもいいですが、そういう視点からお尋ね、また提案したいと思いません。

いじめというのは、私は昔はいじめる側でして、いじめられる側じゃなくていじめる側でしたので、町内のおじいちゃんとかによくしかられました。頭を何回も殴られたこともありまして、それで、こういうことはしてはいけないんだということが、学校の先生から教えていただいたんじゃないで、町のおじいちゃん、おばあちゃんから教えていただいたというか、やっぱり弱い子は助けてあげないかんのやなというようなことを経験させていただいて、餓鬼大将をずっとやってましたけれども、そういう教育があったような気がします。

それで、小学校を生涯学習の場としても使っていくことを考えたら、こういう統廃合というのは要らないんじゃないかなというふうに思うんです。例えば中央公民館で高砂大学とかああいう学習会がよく行われていますけれども、非常に盛んですよね。いろんなたくさんの方が参加して、いろんな意見を言っておられる。ただし残念なのは、中央公民館でやっているのは地域のそういう話はないんですよ。金沢市全体はあっても、地域の非常に狭い地域の話はないんです。小学校とかですと非常に200メートルとか400メートルぐらいの範囲の話がいっぱい出る可能性があるんです。したがって、統廃合というよりも地域のコミュニティー拠点として小学校を位置づけたら、こんな問題は全然なくなるんじゃないかと思うんです。

したがって私は提案ですが、タイムシェアリングという提案をさせていただきたいと思います。朝5時から7時まででは高齢者の学習の場として、運動とか体操とか文化とか文芸を勉強していただく。これは小学校の先生が勉強していただくんじゃないで、我々が勉強して、お互いに教えっこというか、そういう時間帯にします。7時から夜の7時までには小学校に貸し出します。ここでは小学校の学習とかをやっていただきます。それから、7時から10時まで、今度

は地域の若者の学習ということで地域の悩みの相談とか子育ての相談とかそういういろんな悩みを一緒に出していただくとか、ファシリテーターを養成していくとか、それからこのごろ高校とか大学に行ったんだけど、学力がなくて、本当は大学に行けない子も大学に行っているという話も聞くんで、そういう人たちの再学習の場という使い方もあるんじゃないかというふうに思います。

夜間照明のある運動場や体育館をつくるのは当然のこと、夜10時ぐらいまでは小学校を使えるようにしていったらいかがでしょう。そうすると、統廃合の問題はそんなに難しいことはないというふうに私は考えるんですが、いかがでしょうか。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

御意見として伺っておきます。

【参加者】

それだけですか。

生涯教育というのはどういうふうにお考えですか。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

生涯教育なんですけれども、こうして具体的に小学校をこのように利用することに関しましては、御意見としてお伺いしていきたいと思っております。よろしく願います。

## 5. 意見交換

【角野恵美子教育消防常任委員長】

それでは、残り10分となりましたので、今回のテーマに限らずどんな事柄でも結構でございますので、御意見や御質問のある方は挙手にて御発言願います。

【参加者】

なるだけ簡潔に2点。

初めのほうは、前回参加したときに、百条委員会、こういうのが開かれるという段階でございました。そこでお願いしたのは、金沢市民の名誉、金沢市議会の名誉にかけて、わかりやすい結論をぜひ願いますというお話をさせていただきました。大変挙手をしていただくのは失礼なんで、田中議長さんにかわって、御満足のいく、納得のいくような解決ができたのかどうか、その1点だけお答えお願いしたいと思います。

【田中展郎議長】

百条委員会につきましては、今やっている最中で、それも含めて委員会のほうで今皆さんでいろいろ検討しているということで聞いていますので、また推移を見ていただければと思います。

以上です。

【参加者】

同じことは繰り返しませんので、ぜひいいがにまた解決が、市民の皆さんに向けて、議会の皆さんに向けて、笑顔でこうなりました。十分ですと言うことができるように期待しております。

【田中展郎議長】

それも含めてやっていますので、御理解のほどお願いします。

【参加者】

もう1点、首都圏におけるPR活動、関係議員の方に御返答をお願いしたいんですが、銀座に県が1億円以上のお金をかけてお店を出しましたけれども、金沢市はどの程度の金銭的には関与されているんですか。何%ぐらい。と申しますのは……。

【田中展郎議長】

石川県と各市町で割合を、人口割でやっていますので、多分金沢市は私のあれでは、30%ぐらいだと思えるんですけども、そんなことで理解していただければと思います。

【参加者】

金沢市独自で考えるということは。あのお店はたしか物産品を広めたいというのが当初の目的だったと思いますけれども、東京都内だけをとりましても1日に2万人近い人が通る商店街とか、あるいは寅さんでおなじみの葛飾柴又の個性的な商店街とか、いろんな商店街がたくさんあるわけですね。例えば東西4つに分けて1カ所ずつ、例えば金沢市だけで無理でしたら金沢市と輪島市とか、あるいは白山市とか加賀市とか協力し合って、商店街と同じような中にお店を出すと経費も相当安く済むのではないか。なおかつ、商店街というのはいろんなお祭り事をたくさん催します。宣伝効果抜群でございますし、商店街通りですけども、金沢市のパンフレット、ぜひ遊びに来てくださいみたいないいものをたくさん置ける可能性も十分にあります。

どこかの県と同じように、同じようなまねをしないで、幅広く考えて、そういうようなアイデアをどんどんどんどん出していただいてやっていったほうが、地元密着型、商店街で年末年始の景品が当たった。これ、金沢市のほうで招待しているらしいよ、旅行に行けるよと、2泊3日での形で。そんなようなこともできますし、もう一つは一生懸命新幹線のPRをなさっておりますけれども、東京中心に首都圏を考えますと、その次の年には北海道新幹線がスタートします。向こうの人間にとって、忘れやすい人種ばかりですから金沢の新幹線のことはずぐ忘れます。また、競合しても北海道には絶対勝てません。その辺のフォローをひっくるめて、今の話の中で関係議員の方でどういう対策をされているか、あるいはどういう感じでございますか、お答えいただければ幸いです。

【田中展郎議長】

石川県アンテナショップ、銀座のほうにあります。私も2回行きました。その近辺の福井、沖縄、高知、いわゆるたくさんのお土産館が、石川は石川で特徴あるアンテナショップで大変好評で、売り上げもたくさんあって好調だということ聞いていますので、今一生懸命やっています。オープンしてまだ余りたってませんから、そんな意味でいい方向に流れていますから、あとはたくさん宣伝して、また来てくれるようにいろいろやっています。確かに新幹線が開業するまで大変、今、金沢は東京でも大変注目されていますので、たくさんの方が来ているということ聞いています。

今言われた御意見等々は、また状況を見ながら石川県のほうに考えていただくものと思います。

【参加者】

金沢市独自で考えてください。

【田中展郎議長】

金沢市も近くにキラリトギンザビルの中で、銀座の金沢をやっています。これもおかげさんで今いい方向で動いています。なかなか今のところ人気あるということ聞いてます。

あと、北海道新幹線。確かに北海道新幹線は心配なんですけれども、それで私らは新幹線開業だけじゃなくて、アフター新幹線ということで2年後、3年後、5年後、10年後を見据えたまちづくりをやっているし、議会としても今後考えて、皆さん市民の方とともにそんな意味で魅力あるまちづくりをしていきたい、そんなことを思っています。

以上です。

【参加者】

どうも済みません。先ほど話しました政務調査費の点について。

名高裁金沢支部で1,005万円の返還を求めるよう市に命じる判決が出たと。これについて、田中展郎議長は、最高裁の判断に則して10から12年度の政調費の訴訟にも影響が出るのが予想される。こんなようなことが、その政務調査費の問題について議員の皆さんの間にはあるんじゃないかと。議員の皆さんは執行部に対するチェック機能があって、大いにやっていただいて、百条委員会ですとか何委員会など、市民の目にはっきりわかるようにやっていただく。これは大事なことです。それじゃ、市会議員の皆さんのチェックは誰がするかということでもあります。こんな会であり、4年に一度の選挙の機会に議員の皆さん方はチェックされるんだとは思いますが、耳に痛い話について先ほどの議員定数削減についてとか、この政務調査費をどうするのかと、こんなことについて、むしろこの意見交換会のお話として市民はどう思いますかというようなことを聞

いただければ、学校の問題なんかは執行部あたりでも、教育委員会で非常に一生懸命やっているとと思うんですよ。その屋上屋を重ねるような意見交換会のこれも大事ですけども、やっぱり市民からチェックを受ける、耳に痛いようなことについて議題となされるようなことはお考えいただけないものでしょうか。

【田中展郎議長】

貴重な御意見ありがとうございます。

私は、政務活動費より子どもたちの教育のほうが大事かなと、そんなことを思っています。

あと、政務活動費は実は私ら何も隠しているわけじゃなくてオープンにしています。活動費は地方議員が政策などについて調査研究することを目的に、議員報酬とは別に公費から支払われているものであります。金沢市では、ここにあります金沢市議会政務活動費——昔は、政務調査費って言いましたけど、今は政務活動費ということになります——運用の手引というこれを、議会のほうで専門家も入れてつくらせていただきました。私たちが勝手につくったんじゃない。専門家を入れて、全国等々を調査してつくらせていただきました。これをもとに、私たちは政務活動費を運用しているので、したがって、今回の最高裁の決定は、この手引で私たちがやっているにもかかわらず違法ということでありました。最高裁で決まったことは、これはやっぱり裁判ですから、負けは負けということで返還しなければならないものは返還する。ただし、運用の手引は、私たちのほうでまた改めて改選後、もう一回見直さなければならないということだと思います。

以上です。

【参加者】

そういったものは一般に公表しないんですか。

【田中展郎議長】

全部公表はしています。全部見ていただければわかります。これは隠していません。インターネット等を見ていただければ、公表です。

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

それでは、時刻も8時半になりましたので、このあたりで意見交換会を終了したいと思います。

## 6. 閉会挨拶

【喜多浩一教育消防常任副委員長】

それでは、閉会に当たりまして金沢市議会副議長の松村理治から閉会の御挨拶を申し上げます。

**【松村理治副議長】**

本日は、皆様方から貴重な御意見を承りましてまことにありがとうございました。

きょう、皆様方からいただいた御意見を、これから議員一人一人が肝に銘じながら、この御意見をまた参考に市政に反映していくべく努力をしなければいけないというふうに思っております。一つでも多くの皆さんの声を市政に反映していきたいというふうに思っておりますので、今後とも忌憚のない御意見をお寄せいただき、市民の皆様とよりよい金沢をつくってまいりたい、このように思っております。

終わりになりましたが、本日は遅い時間にもかかわらず、皆様、お疲れのところ御参加いただきましたことを心から厚くお礼を申し上げます。

どうもありがとうございました。(拍手)

**7. 閉 会**

**【喜多浩一教育消防常任副委員長】**

それでは、これで意見交換会を終了いたします。

なお、皆様にはアンケートを配布させていただいています。御記入の上、受付に提出していただくようお願いします。

それでは、本日はお忙しい中、御参加いただきまして本当にありがとうございました。

以 上